

本県教育を取り巻く
社会経済状況

- 人口減少の加速化
- 気候変動と自然災害
- グローバル化の進展
と国際環境の複雑化
- 不確実な時代性
- 共生社会・社会的包
摂
- Society5.0の到来

第6次山形県教育振
興計画期間の現状

- 探究型学習の拡大
- 併設型中高一貫教育
校の設立
- 自尊心の向上
- 運動時間数の減少
- 不登校児童生徒の増
加
- 教員志願者数の減少
- 授業におけるICT
利用の低さ

今後を見据えた課題

- 予測困難な時代を生
き抜くための変化に
対応できる力の育成
- 多様な個人を尊重し、
包摂社会に寄与する
態度・姿勢の育成
- DXや少子化、地域と
の連携等、様々な変化
に対応した学びの環
境整備

【目 標】 ウェルビーイング※を目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

※ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず将来にわたる持続的な幸福を含むとともに、個人だけでなく、地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

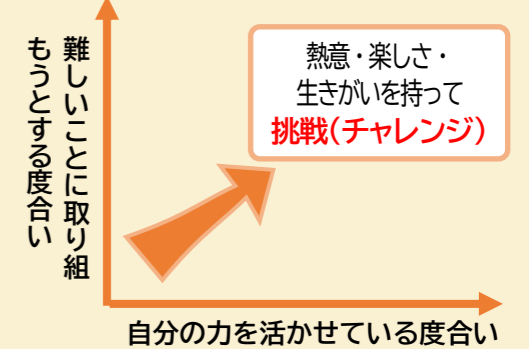
<ウェルビーイングを目指すために>

個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるために、県民みんなが自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要。 → 「挑戦（チャレンジ）」していることが重要

<目指す社会> ◎ 異なる立場や考え、価値観を持った人々が豊かに生き活きと暮らす中で、

- 子どもは、学校の中だけでなく、社会の中で交流し、ワクワク感（意欲、興味、関心）を持って自ら選択し学び合っている
- 大人・家庭は、互いを尊重する姿を見せ、子どもの試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくっている
- 地域等は、一人ひとりの違いや個性を認め、それぞれに応じた多様な学びの場や安全・安心な環境を提供している

<イメージ図>



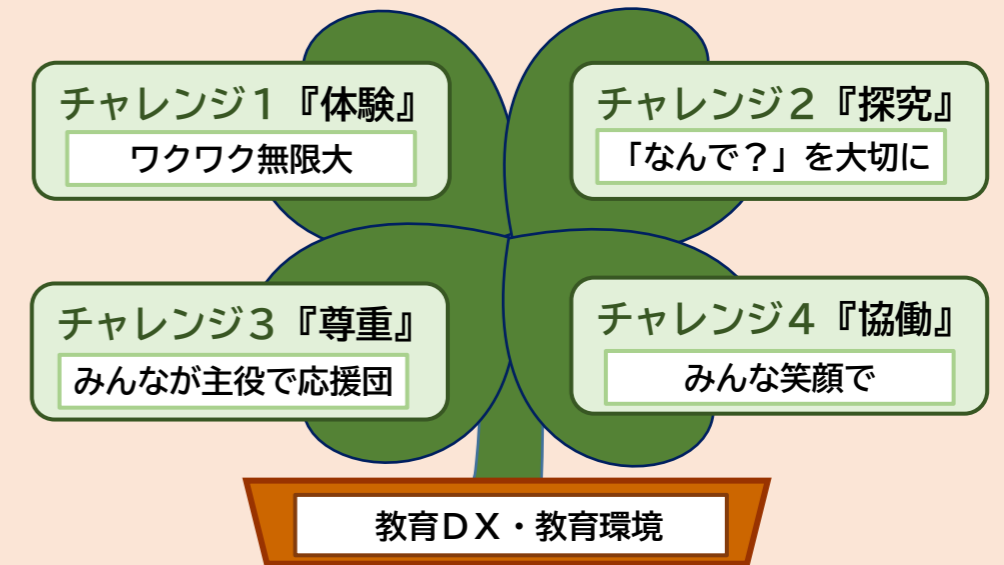
【県民の皆様へ（メッセージ）】 県民一人ひとりが自分事としてとらえ、それぞれの役割を果たしながら前向きに取り組むことが大切。

<目指すべき行動や考え方等>

- 子どもたちへ
 - ・地域や社会で色々な人と交流する
 - ・学ぶ楽しさや意味を知る
 - ・失敗を恐れず、様々なことをやってみる
 - ・自分を大切にするとともに、他者を尊重する など
- 保護者、家庭の皆様へ
 - ・家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
 - ・子どもが自分で育つ力を信じ、遠くから見守りながら困った時は手を差し伸べる
 - ・家庭は子どもが安らげる場所となるなど、自分を大切にするとともに他者を尊重する など
- 地域、企業・NPOの皆様へ
 - ・画一的な学びから個別最適な学びへの変化を認識する
 - ・学びの場は学校以外に広がり、地域や企業、社会全体が主体的に参画し提案する
 - ・子どもの健康や成長を見守る など

<県民みんなでチャレンジ>

4つの重点的取組みを掲げ、県民の皆さんと共に取り組んでいきます。



方針Ⅰ 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する

アクション 1
自ら考え、主体的に行動する力を育む

- 1 確かな学力の育成
- 2 キャリア教育の充実

アクション 2
新たな価値を創造する力を育む

- 3 グローバル社会の人材育成
- 4 イノベーションを担う人材育成

アクション 3
互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

- 5 豊かな心の育成
- 6 健やかな体の育成
- 7 社会に参画する当事者意識の醸成

方針Ⅱ 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

アクション 4
それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

- 8 特別支援教育の推進
- 9 様々な事情を持つ子どもへの対応

アクション 5
生涯にわたり学びやスポーツ・文化芸術活動を楽しむ

- 10 生涯学び、活躍できる環境整備
- 11 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
- 12 スポーツ・文化芸術体験を通じた心身の育成

方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの環境を整える

アクション 6
教育DXを実現する

- 13 デジタル人材の育成とICTの活用
- 14 ICT環境の整備

アクション 7
活力あふれる学校を実現する

- 15 指導体制の強化
- 16 教育環境の整備
- 17 児童生徒等の安全確保

アクション 8
家庭や地域と一体となって学びを支える

- 18 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
- 19 NPO・企業・大学・地域団体等との連携・協働

第7次山形県教育振興計画（案）概要版②

<計画期間；令和7年度から概ね10年間（方針以下は5年間）>

【県民みんなでチャレンジ！】 目標の実現に向けて、4つの重点的取組みを「県民みんなでチャレンジ！」として掲げ、県民の皆さんと共に取り組んでいきます。

チャレンジ1 体験

ワクワク無限大

具体的な場面

- 自然体験や宿泊体験
- 職場体験や工場見学
- 海外交流・多文化交流
- 文化芸術・スポーツ体験
- ボランティア活動
- 地域行事
- など

子どもたち

- ・ワクワク、ドキドキ、感動を実感する
- ・失敗も前向きにとらえ、再チャレンジする

家庭

- ・子どもと一緒に挑戦し、一緒に楽しむ
- ・子どもたちを様々な体験に送り出す

地域の大人

- ・リアルな体験の機会を提供、誘導する
- ・多様な体験に挑戦し、得たものを子どもに還元する

ワクワク体験施策パッケージ

- 子どもへ多様な体験の提供
 - ・自然体験や多文化交流、スポーツ・文化芸術体験等、多様な体験活動等の提供
 - など
- 家庭への体験参加支援
 - ・親子での自然観察や野外活動等、体験活動の充実
 - など
- 企業・団体等への支援
 - ・教育活動の協力企業に対する認証等、インセンティブの付与
 - など

チャレンジ2 探究

「なんで？」を大切に

具体的な場面

- 地域の課題解決活動
- 幼児の遊び
- ものづくり体験
- 授業や家庭学習
- 文化芸術体験
- 部活動やスポーツ活動
- SDGsへの取組み
- など

子どもたち

- ・興味のあることにのめりこみ、調べる
- ・当たり前を「なんでだろう？」と考える

家庭

- ・子どもと一緒に調べたり、深く考えたりする
- ・子どもの試行錯誤を見守り、支える

地域の大人

- ・探究の機会、必要な情報や資機材を提供する
- ・交流や活動の中で、子どもたちからも学ぶ

なぜなぜ探究施策パッケージ

- 子どもたちの探究心の醸成
 - ・探究学習やSTEAM教育の拡大
 - ・企業・団体等との連携・協働による地域の課題解決
 - など
- 家庭の探究学習への理解促進
 - ・探究学習の意義・実践等に関する情報の発信
 - など
- 企業等や大学との連携
 - ・探究学習や起業体験活動等のサポートを行う大学との連携協定の締結
 - など

チャレンジ3 尊重

みんなが主役で応援団

具体的な場面

- 家族等とのコミュニケーション
- 支援を要する人たちとのふれあい
- 異年齢の人との交流
- 生徒会活動などの自主的な活動
- 人権教育や道徳の授業
- 多文化交流
- など

子どもたち

- ・自分の思いや考えを大切に自己決定し、行動する
- ・相手を大切に考えながらコミュニケーションをする

家庭

- ・子どもの話を聞き、一緒に悩み考え、成長する
- ・子どもが成長を実感し、つまづきを受け止める声掛けをする

地域の大人

- ・様々な事情を持つ人や支援を要する人を支える環境を作る
- ・子どもの模範となりながら自身の成長を支える

多様性尊重施策パッケージ

- 子どもの多様性の尊重
 - ・多文化共生に関する学習の充実
 - ・夜間中学の設置検討、特別支援教育の推進
 - など
- 家庭教育等への支援
 - ・子育ての悩みや家庭教育についての相談機会の提供
 - など
- 地域の取組みへの支援
 - ・地域学校協働活動の推進
 - ・フリースクール等、民間団体との連携
 - など

チャレンジ4 協働

みんな笑顔で

具体的な場面

- 地域の課題解決活動
- 運動会等の学校行事
- ボランティア活動
- 防災への取組み
- 地域学校協働活動
- 地域の伝統や文化的な行事
- など

子どもたち

- ・地域イベントやボランティアに積極的に参加する
- ・楽しみながら、これまでの学びや経験を活かす

家庭

- ・地域活動などに参加し、いきいきとした姿を見せる
- ・家庭の手伝いなど、役割をもたせる

地域の大人

- ・地域活動に子どもたちの意見を取り入れる
- ・活動の中で、自分の良さや得意分野を最大限活かす

みんな笑顔施策パッケージ

- 子どもが協働する機会の創出
 - ・企業・団体等と連携したボランティア等体験機会の充実
 - など
- 家庭との協働
 - ・PTA等による学校・家庭・地域の協働活動への支援
 - など
- 地域との協働
 - ・協力人材・企業等とのマッチング
 - ・防災・減災への取組みの推進
 - など

チャレンジを支えるもの

【教育DX】

- 統合型校務支援システムのクラウド化
- 教育情報ネットワークの統合・高速化
- 教育データの分析・活用
- 遠隔教育の展開
- など

【教育環境】

- 教員等の指導体制の充実
- 時代の変化に対応した学校施設設備の整備
- 学校安全の推進
- など

【今後5年間に取り組む施策】

◆ 方針 I 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する

アクション 1 自ら考え、主体的に行動する力を育む

- 様々な体験を通し自分の興味関心を見つけ、行動する経験を積み重ねることで、主体的に学び続ける

1 確かな学力の育成

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - 1人1台端末の活用や自ら学びを進める学習、多様性を尊重しながら学ぶ異学年協働による学習の展開等の授業改善の推進
 - 少人数やチームティーチング等、個に応じたきめ細かな指導の充実
 - 質の高い授業展開による学習内容の理解度・定着度の向上、多面的な児童理解による心の安定等を目指した小学校における教科担任制の推進
 - 全国学力・学習状況調査等のデータの分析を通じた各市町村等への支援により、確かな学力の向上の取組みを県全体に展開
 - 研修会の実施や好事例の共有による教員の指導力向上の推進
 - 多様化する教育課題等を踏まえた「教育山形『さんさん』プラン」の今後の展開の在り方の検討
- 探究学習の拡大
 - 情報収集、整理分析やまとめ・発表の場面における1人1台端末の積極的な活用等、ICTの効果的な活用の推進
 - 地域の人材、企業やNPO等との連携による地域に根ざした学習の推進
 - 大学教授や先進校教員を招聘した研修会の開催、探究学習に関する情報発信等による教員・保護者等の理解促進
 - 学校種を越えて互いに学び合う機会の創出等、探究学習の県全体への展開
- 幼児教育の推進
 - 幼稚園教育要領等の着実な実施による幼児の自発的な活動としての遊びを通じた指導の充実
 - 幼児教育センターの設置による幼児教育アドバイザーの育成・派遣、幼保小連携による架け橋プログラムの取組み、研修機会の充実等による幼児教育の質の向上
- 高等教育の充実
 - 県立高等教育機関における地域のニーズに対応した専門知識と専門技術を有する人材の育成

2 キャリア教育の充実

- 社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成
 - 社会性や課題解決力等の社会で求められる資質・能力を、学校の教育活動全体を通して体験的・実践的に育成
 - 学習や活動を記録するキャリア・パスポートの活用等による学びと自己の将来とのつながりを見通す力の育成
- 職業実践力の育成
 - 地元企業や大学等と連携した職場体験・インターンシップの実施
 - 県内の各分野で活躍するスペシャリストによる講話等の実施
 - 専門学校が企業と連携して実践的で質の高い教育を行う取組みの支援
- 県内で活躍する人材の育成
 - 県内大学等と連携したセミナー等の開催による県内大学への進学への推進
 - 地域企業と連携したセミナーの開催や企業見学等の実施による県内就業への推進

アクション 2 新たな価値を創造する力を育む

- 時代の変化を敏感にとらえ、自由な発想で果敢に挑戦し、失敗しても諦めずに創意工夫する

3 グローバル社会の人材育成

- 外国語教育の充実
 - A L Tや地域に在住する外国人等との連携やICTの活用による、コミュニケーション能力を高める英語教育の推進
 - 小中高の英語教員の相互授業参観や意見交換等、学校種間の連携による系統的・継続的な英語教育の推進
- 多文化共生に関する学習の展開
 - 道徳や総合的な学習・探究の時間等における、他国文化の尊重、国際的視野に立った世界平和等の学習の展開
 - 外部団体等との連携等による県内大学の留学生や地域に在住する外国人の方々等との交流の推進
- 海外との交流の拡大
 - オンラインによる外国人講師との英会話体験等、多様な価値観に触れる機会の創出
 - ICT活用による海外との交流を希望する県内の高等学校と海外の学校等とのマッチングの支援
 - 高校生が海外の高等学校等と交流する機会の創出等、グローバル産業人材の育成の推進

4 イノベーションを担う人材育成

- STEAM教育の推進
 - 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等や課題対応力の育成等を目指した教科等横断的な学習の推進
 - 課題発見・解決に向けたデザイン思考の活用等、大学と連携した新たな価値を創造する学習の推進
 - SSH指定校における大学や企業との連携等によるレベルの高い理数分野を中心とした探究学習の推進
- 起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の展開
 - 大学や地元企業等と連携し起業のノウハウを学び実際に起業を目指す体験活動等の推進

アクション 3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

- 豊かな心、健やかな体を育み、互いを尊重し、社会の一員として自分の意志を持ち前向きに行動する

5 豊かな心の育成

- 体験学習の充実
 - 子どもの学びに貢献する意欲のある企業・団体等との連携・協働による、子どもの体験機会の提供
 - 学校や企業等をつなぐ情報共有サイトでの企業等の支援内容の紹介等による学校やPTA活動等での活用促進
- 感性や郷土愛の育成
 - 郷土の魅力を知るための情報ポータルサイトのコンテンツの充実等による情報発信
- 道徳教育・人権教育の充実
 - 地域の実態や課題に応じた道徳教育や人権教育の実践事例等の情報発信
- いじめへの対応等、生徒指導の充実
 - 「居場所づくり」「絆づくり」の取組みやいじめ発見調査アンケートの実施等、未然防止・早期発見等の推進
 - 早期解消に向け、スクールカウンセラー等の外部専門家や関係機関と連携し、組織的かつ迅速な対応の展開
- 読書活動の充実
 - 民間団体等との連携による読書支援ツール等の展示会や利活用体験等、多様な読書活動の普及啓発
- 地域活動・ボランティア活動の充実
 - 地域の企業・団体等と連携した地域活動・ボランティア活動の促進

6 健やかな体の育成

(1) 健康や食に関する教育の推進

- ・ 各学校が策定する「食に関する指導の全体計画」に基づく家庭や地域と連携した食育の推進
- ・ 特別活動や保健の授業等における性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性等についての理解促進
- ・ 飲酒・喫煙、ギャンブル等依存症や過度なICT利用に伴う健康課題についての教職員等対象の研修会の実施
- ・ 専門医や関係機関等との連携による健康増進に向けた学校及び地域が一体となった推進体制の整備

(2) 運動やスポーツに親しむ資質・能力の育成

- ・ 優れた体育授業の実践等を共有するプラットフォームの作成等による体育授業の充実
- ・ 部活動等を通じた心身の健康の増進や運動やスポーツへの多様な関わりができる態度の育成

7 社会に参画する当事者意識の醸成

(1) 児童生徒の意見に基づく活動・取組みの推進

- ・ 児童生徒に関わるルール決定や見直し等の場面における、児童生徒の意見反映の推進
- ・ 各種会議や研修会等を通じた、こども基本法の趣旨及び地域の取組みの好事例の周知展開

(2) 社会課題の解決に向けた資質・能力の育成

- ・ 家庭や地域、市民団体等との連携によるSDGs、環境問題をテーマとした学習の推進
- ・ ハザードマップや災害時の備えの確認、実践的な避難訓練等、自ら判断し行動する防災教育の推進
- ・ 青少年教育施設での野外活動等を通じた困難な状況等においても自分の身を守り、互いに助け合う意識の醸成

(3) 主権者教育・消費者教育の推進

- ・ 小・中学校等の社会科や家庭科、高等学校の「公共」、「家庭」における、法令等の学習の展開
- ・ 関係機関との連携による体験的・実践的な取組みの推進

(4) 地域活動・ボランティア活動の充実【アクション3 5（6）の再掲】

- ・ 地域の企業・団体等と連携した地域活動・ボランティア活動の促進

9 様々な事情を持つ子どもへの対応

(1) 不登校対策と不登校児童生徒への対応

- ・ 学校における「居場所づくり」「絆づくり」の取組みの充実等による未然防止の推進
- ・ 1人1台端末の活用やスクールカウンセラー等との連携による早期発見・早期対応の推進
- ・ ICTの効果的な活用による不登校児童生徒の状況に応じた支援の充実
- ・ フリースクール等の民間団体との連携や学びの多様な化学校の設置推進等、不登校児童生徒の学びの機会の確保

(2) 家庭の事情等により学業に影響が生じている子どもへの対応

- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と一体となった支援の継続
- ・ 政府の制度も活用しながら、経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助の実施

(3) 外国人の子どもへの対応

- ・ 学校生活への適応や日本語の習得等に向け、市町村と連携し実態やニーズに即した指導・支援の促進

アクション 5 生涯にわたり学びやスポーツ・文化芸術活動を楽しむ

- 人生100年時代を見据え、学校だけでなく地域や企業、社会全体で、生涯にわたり大人や子どもをはじめ多様な人と共に学び、多様な価値観に出会うことによって、一人ひとりが幸福や生きがいを感じるとともに、そこで得たことを社会の中で生かす学びのサイクルを実現する

10 生涯学び、活躍できる環境整備

(1) 働きながら生涯学べる環境の整備

- ・ 県生涯学習センターをはじめ多様な学びの機会を提供する関係機関と連携した生涯学習の推進
- ・ 県内の生涯学習・文化関連の講座やイベント情報等を発信するコンテンツの充実

(2) 誰もが学び続けられる環境の整備

- ・ 障がい者や高齢者を含む多様な県民の学びの機会の充実に向けた関係者の資質向上や好事例等の情報発信
- ・ 学齢を過ぎた義務教育未修了者、外国籍の人等、多様な人たちの学びの機会となる夜間中学の設置検討

11 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

(1) 社会教育機関の活性化

- ・ 少年の自然の家、青年の家における親子自然体験や多様な講座の開催等、体験活動や魅力あるイベントの実施
- ・ 県立図書館における県民の知的活動を支え、賑わいの拠点となる取組みの推進
- ・ 県立博物館におけるデジタルコンテンツを活用した情報発信、展示・企画の充実

(2) 社会教育人材の養成

- ・ 社会教育主事講習の受講促進及び生涯教育・社会教育関係者のニーズに即した研修会等の実施

12 スポーツ・文化芸術体験を通じた心身の育成

(1) 豊かなスポーツライフの実現

- ・ 県民スポーツフェスティバル等の開催や総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）の運営支援等、生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しむ機会の創出
- ・ 熱中症対策等の情報発信やハラスメントの根絶等の研修会の開催等、スポーツ実施者の安全・安心の確保の推進

(2) アスリートの発掘・育成

- ・ 「YAMAGATA ドリームキッズ」等による人材発掘・育成及び指導者の研修会の開催等による指導力の向上

(3) 文化芸術の振興

- ・ 文化芸術団体等との連携による地域の文化を鑑賞・体験する機会の創出
- ・ 子ども・若者をはじめ幅広い世代の文化芸術活動への参加意欲の醸成
- ・ 民俗芸能等の伝承活動に取り組む学校や地域の活動を後押しする出前講座や研修会の実施

(4) 文化の担い手（演じる・鑑賞する・運営する）の育成

- ・ 地域の文化芸術団体、住民、文化芸術施設をつなぐ役割を担う人材の育成

◆ 方針 II 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

アクション 4 それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

- 一人ひとりが違うことを前提に、多様な他者との交流による学び合いを進めそれぞれの可能性を引き出していく

8 特別支援教育の推進

(1) 共生社会の形成を目指した理解啓発の推進

- ・ 学校行事や地域活動等における、特別支援学校等と小中高等学校等が相互理解を深める交流等の展開
- ・ 個別の教育支援計画等の作成と進級や進学における確実な引継ぎの推進
- ・ 関係機関との連携による就学前から社会参加まで切れ目なく支援する体制の構築
- ・ 特別支援学校及び小中学校等における医療的ケアに係る支援の充実と環境整備の推進

(2) 小中学校等及び高等学校における特別支援教育の充実

- ・ 特別支援学校のセンター的機能を活用した巡回相談による、小中高等学校等における校内支援体制の充実
- ・ 通級による指導を充実するための他校通級や巡回通級の推進
- ・ 教員のキャリアステージに合わせた計画的・系統的な研修受講の促進等、教員の専門性の向上

(3) 特別支援学校における特別支援教育の推進

- ・ 子ども一人ひとりの状況に応じたICTの効果的な活用の推進
- ・ 子ども一人ひとりの能力、適性や発達段階に応じた系統的・継続的なキャリア教育の展開
- ・ 県内4地区の就労支援コーディネーターによる就労支援の充実
- ・ 施設の老朽化、在籍する子どもの状況等を踏まえた施設設備の充実

◆方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの環境を整える

アクション6 教育DXを実現する

- ICTの活用が日常化し、学ぶ場所を自由に選び、教育データを活用して、リアルな体験と組み合わせ一人ひとりにあった充実した学びを実現する

13 デジタル人材の育成とICTの活用

- (1) 児童生徒のICT活用の推進
 - ・ ICT教育先進校等における実践事例の周知等により、児童生徒の1人1台端末の活用の推進
 - ・ 教員対象の研修会の実施や指導に関する先進事例の情報発信等による教員のICT活用の指導力向上の推進
- (2) AI活用に向けた環境整備
 - ・ 学校教育におけるAI活用の進展に向けた、教育分野に特化したAIサービスに関する研究の推進
 - ・ 授業や校務での生成AI活用の事例の共有や教員のAIリテラシー向上のための研修会の実施
- (3) 遠隔教育の推進
 - ・ 他校との合同による協働的な学びや生徒の習熟に応じた学習の機会の創出
 - ・ 県立高等学校における年間を通じた遠隔授業の推進と必要な機器の整備促進
- (4) 教育データの分析・活用の促進
 - ・ 蓄積された教育データを可視化し、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の促進

14 ICT環境の整備

- (1) ICT設備等の充実
 - ・ GIGAスクール構想に基づく1人1台端末や機器・設備の更新整備等、県立学校のICT環境整備の推進
 - ・ 教育情報ネットワークの統合・高速化及び統合型校務支援システムのクラウド化の推進
- (2) ICT運用支援の充実
 - ・ ICTに関する相談、訪問等の支援における外部人材活用の推進
- (3) 社会教育分野でのデジタル化の推進
 - ・ 県立博物館における収蔵資料等のデジタル・アーカイブ化の推進やデジタルコンテンツによる展示・企画の充実
 - ・ 県立図書館における電子書籍の充実等、非来館型の図書館サービスの向上

アクション7 活力あふれる学校を実現する

- 家庭や地域と役割分担しながら、外部人材の活用等により、教員が余裕と余白を持つとともに、子どもが前向きに挑戦できる環境をつくる

15 指導体制の強化

- (1) 働き方改革の推進
 - ・ 「働き方改革チェックシート」を活用した自己評価の実施等、教員の働き方への意識改革の推進
 - ・ 学校・教師が担う業務に係る3分類に基づく業務適正化等の取組みの点検によるPDCAサイクルの充実
 - ・ 教員業務支援員や部活動指導員、スクールカウンセラー等の各種外部人材の配置充実による学校・教師の負担軽減の推進
 - ・ メンタル不調の未然防止のための研修や相談事業等、メンタルヘルス対策の充実
- (2) 教員の養成・確保の推進
 - ・ 県内教職課程認定大学等と連携し、「山形県教員『指標』」を基にした教員養成の推進
 - ・ 大学推薦や大学3年次の特別選考、東京での採用試験の実施等、教員確保に向けた取組みの推進
 - ・ 大卒新採教員等への人員加配による空き時間の確保等、負担軽減に向けた支援の実施
 - ・ 代替教員と教員業務支援員をはじめとする支援スタッフ等の人材発掘及びマッチングの推進
- (3) 教員育成の充実
 - ・ 大学・教職大学院や地域との連携による研修、他県の学校への派遣等、教員研修の充実
 - ・ 教員研修履歴システムの活用や、管理職との研修に関する対話・面談等による教員の主体な学びの促進
 - ・ 各種教員研修のオンライン化やオンデマンド型講座の開設等、教員の研修参加環境の充実

16 教育環境の整備

- (1) 県立高等学校の特色化
 - ・ 県立高等学校の特色や強みの効果的な情報発信等、訴求力のある多様な広報戦略の展開
 - ・ 学校及び地域の魅力発信等による、小規模校を中心とした県立高等学校への県外生の受入れ推進
 - ・ 地域の状況等を踏まえた、特色ある学校や学科等の配置
- (2) 計画的な学校施設等の整備
 - ・ 長寿命化計画に基づく早期保全による施設の長寿命化の推進
 - ・ 新築・改築等の機会をとらえた再生可能エネルギーの導入及び建物の木造・木質化等の実施
 - ・ 計画的な冷房設備の整備及びトイレの洋式化等の推進
- (3) 私立学校の振興
 - ・ 私立学校の経営環境や政府の動向を踏まえた私学助成の展開
 - ・ 授業料軽減補助による支援等、保護者の負担軽減の実施

17 児童生徒等の安全確保

- (1) 安全教育の推進
 - ・ 地域や校内の安全マップ作り、AED実習等、経験に基づく学習や体験的な学習の推進
 - ・ 火災、地震、大雨、不審者対応、弾道ミサイル発射対応等、様々なケースを想定した避難訓練の展開
 - ・ 地域の実情に応じた災害の備えの確認等、地域の関係機関との連携の推進
 - ・ 防犯や交通安全、防災等の安全教育に関する研修会の実施等による教員の指導力の向上
- (2) 学校における安全管理の推進
 - ・ 危機管理マニュアルや学校安全計画の検証・更新等による学校安全の取組みの実効性の向上
 - ・ 児童生徒の安全確保に必要な知識や危機管理の事例の研修等による教員の資質向上の推進
 - ・ 地域学校安全指導員の配置推進等、学校・家庭・地域の連携による学校安全体制の強化

アクション8 家庭や地域と一体となって学びを支える

- 子どもも大人も、自分が学びたい方法で学べる場や選択肢を、社会全体で協力して支えていく

18 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上

- (1) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
 - ・ 地域学校協働活動推進員等を対象とした研修会の開催
 - ・ 教職員等を対象とした研修会の開催によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の理解の促進
 - ・ 学校・家庭・地域が協働して子どもの成長を支えるうえでも重要となるPTA等の社会教育団体の活動の促進
- (2) 家庭教育支援の充実
 - ・ 家庭教育講座や研修会の実施、ホームページやSNS等での情報提供による子育ての悩みや家庭教育について相談できる機会の提供等、保護者への支援及び家庭教育支援者の育成
 - ・ 「やまがた子育て5か条」リーフレットの周知による子どもの生活習慣に関する理解促進
- (3) 地域一体となった県立高等学校の活性化
 - ・ 産業界等との連携による農業、福祉や観光等、地域全体を学びのフィールドとした教育活動の展開
 - ・ 産業界等との連携による産業界や大学との連携、次世代分野の研修や産業界の実習等、実践的で質の高い産業教育の展開
 - ・ コミュニティ・スクールの活性化等、市町村と連携した高等学校の魅力化の推進

19 NPO・企業・大学・地域団体等との連携・協働

- (1) 学校等と企業等との連携・促進
 - ・ 学校等と企業等をつなぐ情報共有サイトにおける企業の支援内容等、情報提供の展開
 - ・ 教育支援活動に意欲的な企業等であることの周知による、社会全体での教育活動への参画意識の醸成
- (2) 高等教育機関、自治体及び企業等との連携
 - ・ 「やまがた社会共創プラットフォーム」への参画による地域人材育成等の推進

第7次山形県教育振興計画（案）概要版⑥

<計画期間；令和7年度から概ね10年間（方針以下は5年間）>

【指標】7教振の目標の実現に向け、主要施策の柱立てであるアクションごとに指標を設定し、取組みの進行管理を行っていきます。

◆方針Ⅰ 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する

アクション1 自ら考え、主体的に行動する力を育む

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
①	国語、算数・数学の勉強が「好き」な児童生徒の割合	国小 68.1% 中 65.4% 算小 58.1% 数中 57.7% (R6)	国小 70% 中 70% 算小 65% 数中 65%
②	国語、算数・数学の内容が「分かる」と思う児童生徒の割合	国小 86.5% 中 82.0% 算小 78.3% 数中 73.8% (R6)	国小 90% 中 85% 算小 85% 数中 75%
③	「授業が、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」と思う児童生徒の割合	小 85.1% 中 82.0% (R6)	小 87.6% 中 84.5%
④	「授業や学校生活で、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と思う児童生徒の割合	小 91.4% 中 93.4% (R6)	小 93.9% 中 95.9%
⑤	「授業中に課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいる」と思う児童生徒の割合	小 81.5% 中 82.6% (R6)	小 84.0% 中 85.1%
⑥	地域や外部機関と連携して探究学習に取り組む小中高等学校の割合	R7 新規調査	小 100% 中 100% 高 100%
⑦	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 81.8% 中 68.4% (R6)	小 85.0% 中 70.0%
⑧	職場見学・職場体験等を行っている小中高等学校の割合	小 90.1% 中 97.9% 高 98.1% (R5)	小 100% 中 100% 高 100%
⑨	全国学力・学習状況調査における正答率が全国平均以上の科目数	4科目中0科目 (R6)	全科目

アクション2 新たな価値を創造する力を育む

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
⑩	「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う児童生徒の割合	小 74.9% 中 78.0% (R6)	小 80.0% 中 80.5%
⑪	「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている」と思う児童生徒の割合	小 86.6% 中 88.4% (R6)	小 89.1% 中 90.9%
⑫	「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりしている」と思う児童生徒の割合	小 85.6% 中 81.0% (R6)	小 88.1% 中 83.5%
⑬	CEFR A1 レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる中学生及び CEFR A2 レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる高校生の割合	中 49.2% 高 55.1% (R5)	中 60% 高 60%
⑭	大学や企業等と連携した起業家教育の取組みに参加した高校生の数（累積）	R7 新規調査	200人

アクション3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
⑮	「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合	小 84.0% 中 84.4% (R6)	小 86.5% 中 86.9%
⑯	「友達関係に満足している」と思う児童生徒の割合	小 92.3% 中 90.7% (R6)	小 94.8% 中 93.2%
⑰	いじめの認知件数に占める、いじめが解消しているものの割合（小・中・高・特支）	99.5% (R4 認知分、R6.3.31 時点)	100%
⑱	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合	小 85.4% 中 80.8% (R6)	小 87.9% 中 83.3%
⑲	高校3年生までに地域活動・ボランティア活動に参加した経験がある生徒の割合	78.8% (R5)	100%
⑳	「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている」児童生徒の割合	小 83.2% 中 79.1% (R6)	小 85.7% 中 81.6%
㉑	運動・スポーツが「好き」な児童生徒の割合	小中 88.2% (R6)	小中 90.7%

◆方針Ⅱ 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

アクション4 それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
㉒	「人が困っているときは進んで助けている」と思う児童生徒の割合	小 92.9% 中 91.0% (R6)	小 95.4% 中 93.5%
㉓	特別支援教育に係る校内研修を実施している小中高等学校の割合	小 74.7% 中 58.3% 高 47.0% (R5)	小 100% 中 100% 高 70%
㉔	児童生徒のICT活用を指導することができる特別支援学校の教員の割合	70.8% (R5)	100%
㉕	不登校児童生徒のうち、学校や学校外の機関等とつながりを持っている児童生徒の割合	R7 新規調査	100%
㉖	公立学校における日本語指導が必要な児童生徒のうち、学校において日本語指導等特別な配慮に基づく指導を受けている者の割合	88.9% (R5)	100%
㉗	「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と思う児童生徒の割合	小 66.7% 中 65.7% (R6)	小 80% 中 80%

アクション5 生涯にわたり学びやスポーツ・文化芸術活動を楽しむ

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
㉘	過去1年間に月1日以上学習を行った県民の割合	R7 新規調査	80%
㉙	公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数	467,489人 (R5)	470,000人
㉚	成人のスポーツ実施率（週1回程度）	40.0% (R6)	50%
㉛	運動・スポーツが「好き」な児童生徒の割合	【②再掲】 小中 88.2% (R6)	小中 90.7%
㉜	県立文化施設等の来館者数	1,279,180人	130万人
㉝	文化芸術活動に年5回以上取り組んだ小中学校の割合	R7 新規調査	80%

◆方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの環境を整える

アクション6 教育DXを実現する

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
㉞	授業において、PC・タブレット等のICT機器をほぼ毎日使用している小中学校の割合	小 51.4% 中 47.9% (R6)	小 100% 中 100%
㉟	授業にICTを活用して指導する教員の割合	79.1% (R5)	100%
㊱	教育データの可視化のシステムを活用した県立学校の割合	R7 新規調査	100%

アクション7 活力あふれる学校を実現する

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
㊲	「自分の仕事にやりがいを感じている」教員の割合	R7 新規調査	80%
㊳	半期における時間外在校等時間の月平均が80時間を超える教員数	154人 (R6 上期)	0人
㊴	健康診断時における要精密検査該当者の精密検査受診率（教職員）	89.9% (R5)	100%
㊵	学校管理下における事故災害で負傷する児童生徒の割合	7.5% (R5)	7.5%未満

アクション8 家庭や地域と一体となって学びを支える

No.	指 標	現 状 値	R11 指標値
㊶	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組みによって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった」小中学校の割合	小 87.9% 中 67.7% (R6)	小 90.4% 中 85.0%
㊷	子どもの教育活動に参加した地域住民や保護者の人数（1校当たり）	156.1人 (R5)	161.6人
㊸	教育活動に協力するパートナーシップ推進事業に登録した企業等の数	R7 新規調査	300